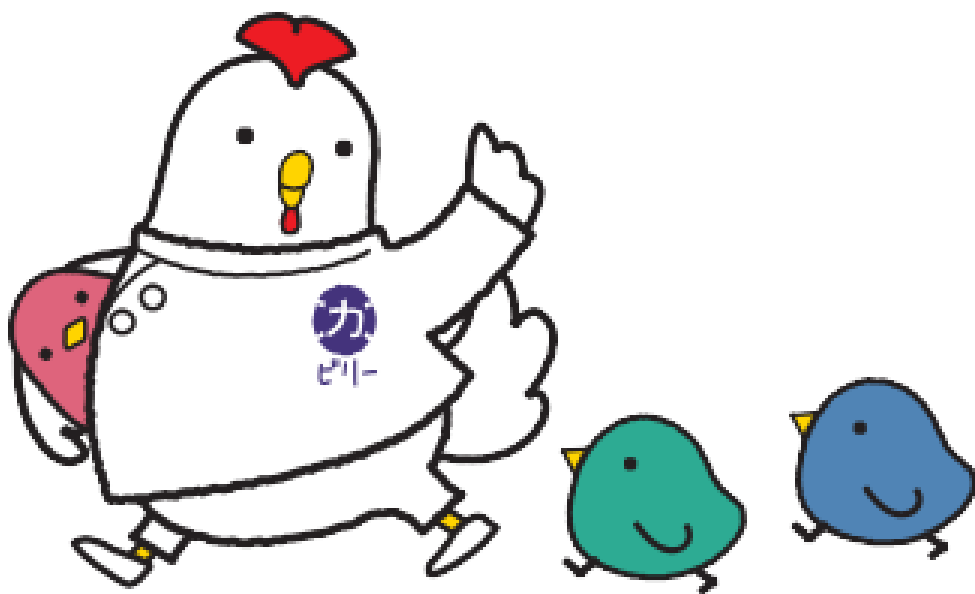


2023年度

出前授業



寄り添うところ、支える技術。



大阪河崎リハビリテーション大学

● 理学療法学専攻 ● 作業療法学専攻 ● 言語聴覚学専攻

出前授業について

大阪河崎リハビリテーション大学では、社会貢献の一環として、本学の教員が高等学校に出向き、大学の教育や研究成果を分かりやすく講義する「出前授業」の依頼をお受けしています。

学校での体験学習の一環としてお役立ていただけるよう、幅広いテーマをご用意しております。

また、生涯学習向けの講座等を希望される地域住民の方々、地方公共団体等からのお申込みについても、お受けしていますのでご相談ください。

申し込み方法等

- 1、下記のQRコードを読み取り必要事項をご入力の上お申込みください。
(受付後、本学担当者より内容確認のご連絡をさせていただきます。)
- 2、日程はご希望の日程で調整させていただきますので、お気軽にご相談ください。なお、本学行事・授業の都合上、お受けできない場合もございますのでご了承ください。(原則として土・日・祝日はお受けできません)
- 3、本冊子に掲載している授業のほかにも、「このような授業を行って欲しい」等のご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。
- 4、講師の交通費等の費用は不要です。本学から遠方の場合はオンラインで対応させていただくか一部お断りする可能性があります。(なお遠隔地の場合の交通費や一部教材費等をご負担いただく場合があります。)
- 5、当日の授業実施にあたり、「大阪河崎リハビリテーション大学 企画」である旨の明示をお願い致します。
- 6、営利目的等、本学の出前授業の主旨にそぐわないと判断した場合は、お断りする場合がありますので、ご了承ください。

お申込みはコチラから⇒



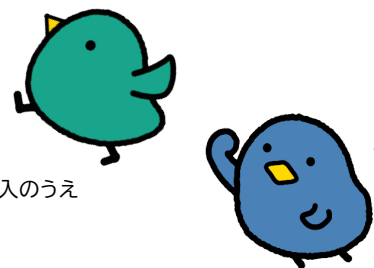
ジャンル	テーマ		講師	
理学療法 作業療法 言語聴覚療法	1	理学療法士について	理学療法学専攻	担当教員
	2	理学療法士としての働き方	理学療法学専攻	准教授 今岡 真和
	3	知って得する！「理学療法」～「痛み」の治し方	理学療法学専攻	講師 肥田 光正
	4	作業療法士について	作業療法学専攻	担当教員
	5	住宅改造の支援による作業療法士の支援について	作業療法学専攻	教授 上島 健
	6	病気やケガで片手が使えなくなったら？～OTが行う支援～	作業療法学専攻	教授 上島 健
	7	作業療法のお仕事～手芸ができなくても大丈夫～	作業療法学専攻	教授 上島 健
	8	“作業” を分析してみよう！	作業療法学専攻	准教授 武井 麻喜
	9	おもしろい “道具” を体験してみよう！！	作業療法学専攻	講師 嶋野 広一
	10	“作業療法” って何だろう	作業療法学専攻	講師 嶋野 広一
	11	OTって何屋さん？	作業療法学専攻	助教 田崎 史江
	12	心身両面にアプローチする作業療法士の専門性	作業療法学専攻	助教 白岩 圭悟
	13	言語聴覚士について	言語聴覚学専攻	担当教員
	14	言語聴覚士（ST）としゃべくりしませんか？～進路について一緒に考えよう～	言語聴覚学専攻	助教 和田 英嗣
リハビリ・医療	15	リハビリテーション職全体について	—	担当教員
	16	医療従事者が人を笑顔にできる訳	理学療法学専攻	准教授 今岡 真和
	17	リハビリテーションってなんだろう	作業療法学専攻	准教授 武井 麻喜
からだ	18	12歳からの頭は自己責任だ？	理学療法学専攻	教授 坪田 裕司
	19	感覚の不思議	理学療法学専攻	教授 坪田 裕司
	20	見えてるつもりの盲点	理学療法学専攻	教授 坪田 裕司
	21	ミトコンドリア ～どこから来て、どんな働きをする？～	理学療法学専攻	教授 中村 美砂
	22	日常生活の身体運動を科学する	理学療法学専攻	教授 久利 彩子
	23	肩の専門家が教える！「肩の仕組みと使い方」	理学療法学専攻	准教授 村西 壽祥
	24	人類の身体と二足歩行	理学療法学専攻	講師 岡 健司
	25	歩行の比較生物学	理学療法学専攻	講師 岡 健司
	26	意外と知らない糖のはなし	理学療法学専攻	講師 大滝 友博
	27	「ひざ」の健康を保つために	理学療法学専攻	助教 久保 峰鳴
	28	痛いと感じるだけが痛みじゃない？	理学療法学専攻	講師 今井 亮太
	29	腰痛予防のための姿勢、ストレッチ、体幹トレーニング	理学療法学専攻	助教 村上達典
	30	脳卒中になるとどうなるの？	理学療法学専攻	助教 村上達典
	31	あなたは右脳派？左脳派？ ～左右の脳の働きを考える～	作業療法学専攻	講師 水野 貴子
	32	「手」を使うことがもたらす脳への影響	作業療法学専攻	助教 白岩 圭悟
	33	見る記憶、聞く記憶について	言語聴覚学専攻	教授 塚本 能三
	34	耳の仕組みと聴こえ	言語聴覚学専攻	准教授 馬屋原 邦博
	35	難聴者の聴こえ方	言語聴覚学専攻	准教授 馬屋原 邦博
	36	目で見ることば～聞こえない人・聞こえにくい人とのコミュニケーション～	言語聴覚学専攻	准教授 馬屋原 邦博
	37	記憶力ってはかれるの？	言語聴覚学専攻	講師 芦塚 あおい
	38	声のしくみ	言語聴覚学専攻	講師 芦塚 あおい
	39	実行（遂行）機能と日常生活	言語聴覚学専攻	講師 上田 有紀人
スポーツ	40	クリケットにおけるメディカルサポートの実際	理学療法学専攻	准教授 今岡 真和
	41	目的に合った筋力トレーニング	理学療法学専攻	助教 久保 峰鳴
	42	ストレッチを効果的に行うために	理学療法学専攻	助教 佐伯 純弥
	43	障がい者スポーツ「ボッチャ」を体験しよう	作業療法学専攻	教授 中裕 俊介
	44	フライングディスクを楽しもう	作業療法学専攻	教授 中裕 俊介
食品	45	地域の伝統食材について	言語聴覚学専攻	教授 宇都宮 洋才
	46	赤ワインポリフェノール（レスベラトロール）の健康寿命の延長効果	理学療法学専攻	教授 後藤 隆洋
	47	食品の健康に対する効果と生物学	言語聴覚学専攻	講師 河野 良平
園芸	48	季節の園芸クラフト講座	作業療法学専攻	助教 田崎 史江
	49	園芸ボランティア養成講座	作業療法学専攻	助教 田崎 史江
	50	季節の花を活かしたリハビリ体験	作業療法学専攻	助教 田崎 史江

生活・健康	51	今からロコモティブシンドロームを予防する	理学療法学専攻	教授 中村 美砂
	52	車いすはみんなの大事な移動手段！	理学療法学専攻	教授 古井 透
	53	災害時の健康を守る運動について	理学療法学専攻	教授 峰久京子
	54	毎日の活動と豊かな生活を目指す思考から始まる認知症予防 ～作業療法＋心理療法の応用から～	作業療法学専攻	教授 大嶋 伸雄
	55	働き方～思考を変えることで実現する生きがい作り～認知行動療法から～	作業療法学専攻	教授 大嶋 伸雄
	56	日本人の国民性と社交～コミュニケーション ～海外との比較からみた私たち日本人の考え方と生活～	作業療法学専攻	教授 大嶋 伸雄
	57	福祉用具を用いた腰痛を予防する移乗介助を学ぶ	作業療法学専攻	教授 岸村 厚志
	58	役に立つ心理学！問題解決のための行動分析学	作業療法学専攻	教授 岸村 厚志
	59	医療安全「人は誰でも間違える」	作業療法学専攻	教授 岸村 厚志
	60	室内で出来るレクリエーション	作業療法学専攻	教授 中裕 俊介
	61	一人のできるレクリエーション	作業療法学専攻	教授 中裕 俊介
	62	ストレスとうまくつきあおう	作業療法学専攻	教授 堺 景子
	63	ひとにとって「幸せ」とは何だろう？	作業療法学専攻	助教 白岩 圭悟
	64	どうすれば良い？ 社会交流スキルの磨き方	作業療法学専攻	助教 中越 雄也
	65	良い生活、良き人生のために、作業バランスを考えよう	作業療法学専攻	助教 中越 雄也
	66	目撃証言の信頼性	言語聴覚学専攻	講師 松尾 加代
	67	人はなぜ、好きなものを食べられなくなるのか？	言語聴覚学専攻	助教 和田 英嗣
	68	コミュニケーションについてちょっと勉強してみたい講座	言語聴覚学専攻	助教 和田 英嗣
	69	パーキンソン病の構音（ことば）訓練について	言語聴覚学専攻	助教 和田 英嗣
	70	『知って体験して予防する「若年者ロコモ」（高校生～一般成人向け）』	理学療法学専攻	教授 峰久 京子
子ども	71	『知って体験して予防する「子どもロコモ」（小学生～中学生向け）』	理学療法学専攻	教授 峰久 京子
	72	運動が不器用な子どもに行う運動あそび	理学療法学専攻	講師 畑中 良太
	73	子どもの権利条約	言語聴覚学専攻	准教授 野村 和樹
	74	不器用な子どもたち～読み書きが苦手な子ども～	言語聴覚学専攻	准教授 高橋 泰子
入試	75	小論文・作文対策について	—	入試担当教員
	76	面接対策について	—	入試担当教員

お申込みから実施までの流れ

① お申込み

できる限り実施希望日の1ヶ月前までに1ページのQRコードから必要事項を記入のうえ
お申し込みください
お申し込み後、数日以内に大学事務局から連絡ご担当者様にご連絡いたします。



② 講師との日程調整

大学講義やイベント等で希望日時に講座を実施できない場合もございます。ご了承ください。
詳細につきましてお打合せさせていただきます

③ 確定

出前授業確定後、大阪河崎リハビリテーション大学宛に講師派遣依頼書の送付をお願い致します。
(様式は問いません)



④ 講座の実施

講座終了後、連絡ご担当者さまにアンケートを送付いたしますのでご回答のほどよろしくお願い致します。

Contents

1	理学療法士について		
講師	担当教員	講義形式	講義
授業概要	理学療法士が担う仕事や、資格取得するために必要なことなどを解説します。理学療法士についての理解を深めることができます。		

2	理学療法士としての働き方		
講師	理学療法学専攻 准教授 今岡 真和	講義形式	講義
授業概要	理学療法士は国家資格として、病院などで勤務するイメージがあると思います。近年、職域の拡大から病院の臨床現場で活躍する以外にも、研究、スポーツメーカーの製品開発、市役所における保健業務など多様化しています。理学療法士としての働き方の多様性を是非知ってください。		

3	知って得する！「理学療法」～「痛み」の治し方		
講師	理学療法学専攻 講師 肥田 光正	講義形式	実技
授業概要	「痛み」を感じない人はいません。「痛み」はほっておくと将来大きなケガや病気をする元凶です。「痛み」の治療は理学療法の大切な分野です。「痛み」の治し方、また「痛み」を起こさないためのからだづくりやこころのケアについて実際の技術を紹介します。		

4	作業療法士について		
講師	担当教員	講義形式	講義
授業概要	作業療法士が担う仕事や、資格取得するために必要なことなどを解説します。作業療法士についての理解を深めることができます。		

5	住宅改造の支援による作業療法士の支援について		
講師	作業療法学専攻 教授 上島 健	講義形式	講義
授業概要	住宅改造という言葉は聞いたことがあるでしょうか？建築分野、福祉用具のことなどの知識を活用し、「こころ」や「からだ」に障がいがある方が、「生き生きと活動できる」ための環境を支援することも重要なリハビリテーションの役割です。介護保険分野で支援を行う作業療法士の仕事を紹介いたします。		

6	病気やケガで片手が使えなくなったら？～OTが行う支援～		
講師	作業療法学専攻 教授 上島 健	講義形式	講義
授業概要	手足が不自由になると、日常生活や仕事で大きな支障が出ます。身体障がい領域での作業療法は、病院でのリハビリ、訪問リハビリなど、様々なところで行われます。片手でできる日常生活を体験し、ちょっとした工夫をワンポイントアドバイスします！！		

7 作業療法のお仕事 ～手芸ができなくても大丈夫			
講師	作業療法学専攻 教授 上島 健	講義形式	講義
授業概要	作業療法士の仕事とは、 ころ・からだに障害がある方、 低下する恐れのある方などに支援を行います。脳卒中、 骨折などによって手足が動きにくくなった肩に便利な道具を使って、 今までと同じようにできる方法を支援します。 また、「うつ」 などのように「ころ」を病んでしまった方の支援も行います。		

8 “作業” を分析してみよう！			
講師	作業療法学専攻 准教授 武井 麻喜	講義形式	演習
授業概要	身近な“作業”をさまざまな視点から分析してみると何が見えてくるでしょうか？作業を体験し、 分析してみると、 作業療法の効果を実感してみましょう。		

9 おもしろい“道具”を体験してみよう！！			
講師	作業療法学専攻 講師 嶋野 広一	講義形式	演習
授業概要	障害を持つと日常生活で不自由さを感じる事が頻繁にあります。 いつもできていたこともできなくなります。そこで、 その不自由さの手助けをしてくれるのが“道具”です。今回は手助けの“道具”＝自助具の紹介を行います。		

10 “作業療法”って何だろう？			
講師	作業療法学専攻 講師 嶋野 広一	講義形式	講義
授業概要	“作業療法”というと難しいイメージを持つかもしれませんが、 決してそうではありません。“作業療法”について身近な物事を例にしながら、 わかりやすく説明します。		

11 OTって何屋さん？			
講師	作業療法学専攻 助教 田崎 史江	講義形式	講義
授業概要	～作業療法士とは何をする人で、 何を専門とするのか～ 「リハビリテーション」 に関わる職種の専門とするところをクリアにしてみませんか。 作業療法士を目指すあなたに、 まだ迷っている君に、 まずは作業療法士の仕事を知っていただきたいと思います。		

12 心身両面にアプローチする作業療法士の専門性			
講師	作業療法学専攻 助教 白岩 圭悟	講義形式	講義
授業概要	作業療法士は対象者の身体面はもちろんのこと、 心理面に対してもアプローチをしていくことをその専門性としています。 この講座では、 その作業療法士独自の視点についてお話しします。		

13 言語聴覚士について			
講師	担当教員	講義形式	講義
授業概要	言語聴覚士が担う仕事や、 資格取得するために必要なことなどを解説します。言語聴覚士についての理解を深めることが出来ます。		

14	言語聴覚士(5T)としゃべくりませんか？～進路について一緒に考えよう～		
講師	言語聴覚学専攻 助教 和田 英嗣	講義形式	講義
授業概要	言語聴覚士はどんなところで、どのような方に関わる仕事なのか。また、仕事のやりがいや将来性など、聞きたいことを聞いてください。経験してきたことをリアルにお伝えしたいと思います。		

15	リハビリテーション職全体について		
講師	担当教員	講義形式	講義
授業概要	リハビリテーション従事者や、各療法士が行う治療の違いなどを解説します。リハビリテーションに関しての理解を深めることが出来ます。		

16	医療従事者が人を笑顔にできる訳		
講師	理学療法学専攻 准教授 今岡 真和	講義形式	演習
授業概要	地域に根差して現役で活動する専門理学療法士が運動を通じ、どのように患者やその家族を笑顔にしていけるのか？一人ひとり違う問題を解決していく過程を紹介しながら、臨床を本当に知ることができる講座となっております。		

17	リハビリテーションってなんだろう		
講師	作業療法学専攻 准教授 武井 麻喜	講義形式	講義
授業概要	よく耳にする「リハビリ」という言葉。歩く訓練のこと？手足を動かす体操のこと？痛いことをするの？などなど、世間一般的に思われている「リハビリ」についての誤解を解いていき、いったい本当の「リハビリテーション」とは何なのかをわかりやすく説明します。		

18	12歳からの頭は自己責任だ？		
講師	理学療法学専攻 教授 坪田 裕司	講義形式	講義
授業概要	脳の発達にはどのような仕組みがあるのでしょうか。 ご飯を食べていれば成長する部分と学習が必要な部分があることを理解して、自分の頭を育てましょう。		

19	感覚の不思議		
講師	理学療法学専攻 教授 坪田 裕司	講義形式	講義
授業概要	冷たいと温かいの不思議。 皮膚には温度計があるのか？体の仕組みを探ってみましょう。		

20	見えてるつもりの盲点		
講師	理学療法学専攻 教授 坪田 裕司	講義形式	講義
授業概要	皆さん盲点があるのはご存じですが、実際にどのように見えているのか、見えていないのに見えている、その不思議を実感してもらいます。		

21	ミトコンドリア ～どこから来て、どんな働きをする？～		
講師	理学療法学専攻 教授 中村 美砂	講義形式	講義
授業概要	ダイエットや長寿に関係があると言われているミトコンドリア。遠い昔は何者で、どのようにして私たちの体の細胞の中に住むようになったのか、そして何をしているのか。その謎を紐解いてみます。		

22	日常生活の身体運動を科学する		
講師	理学療法学専攻 教授 久利 彩子	講義形式	演習
授業概要	本講座では、アクティブラーニングという方法を用いて、楽しく学びます。アクティブラーニングとは、授業に能動的に参加し、疑問や発見を通して理解を深める学習法です。気軽に参加してください。日常生活の身体運動を科学しましょう！		

23	肩の専門家が教える！「肩の仕組みと使い方」		
講師	理学療法学専攻 准教授 村西 壽祥	講義形式	演習
授業概要	スポーツなどで「肩が痛い」、「肩があがらない」という訴えをよく聞きますが、肩の痛みや肩があがらないのは、肩関節以外にも原因があることも多く、いろいろな体の部位をうまく連動しないとはいけません。複雑な肩関節の仕組みを理解し、肩関節に負担がかからないための運動を紹介します。		

24	人類の身体と二足歩行		
講師	理学療法学専攻 講師 岡 健司	講義形式	講義
授業概要	人類は二足歩行する動物です。二足歩行が、大きな脳・器用な手・音声言語などを発達させたと考えられています。こうした人類の進化を解説します。		

25	歩行の比較生物学		
講師	理学療法学専攻 講師 岡 健司	講義形式	講義
授業概要	ヒトは身体を立てた状態で、2本の足のみを使って歩きます。これは当然のようですが、他の動物の多くは4本足で歩きます。ヒトと他の動物とで身体構造がどのように異なるのかを比較しながら、なぜヒトが二足で歩けるのかを考えます。		

26	意外と知らない糖のはなし		
講師	理学療法学専攻 講師 大筆 友博	講義形式	講義
授業概要	糖と聞くと皆さんはどのようなイメージを浮かべますか？ 甘い！と答える人がほとんどかもしれません。実は生物の体の中には甘いだけではない糖があちこちに潜んでいます。この講義では甘いだけじゃない糖の役割についてお話します。		

27	「ひざ」の健康を保つために		
講師	理学療法学専攻 助教 久保 峰鳴	講義形式	演習
授業概要	「ひざ」は、下肢の中心に位置します。そのため、動作時には他の関節の影響を受けやすく、日常生活やスポーツ場面で痛めやすい関節であるといえます。「ひざ」の健康を保つためには、何をすれば良いのかを解説します。		

28	痛いと感じるだけが痛みじゃない？		
講師	理学療法学専攻 講師 今井 亮太	講義形式	演習
授業概要	「痛み」とは何でしょう。傷や打撲などの外傷で感じることだけではありません。心理的、精神的苦痛も痛みと定義されています。「痛み」について考えてみましょう。		
29	腰痛予防のための姿勢、ストレッチ、体幹トレーニング		
講師	理学療法学専攻 助教 村上 達典	講義形式	演習
授業概要	腰痛に困っていませんか？トラック運転手、養護学校の教員、保育士、介護職など、様々な職場で腰痛により仕事を休んだり、ひどい時には仕事が続けられなくなることが起きています。腰痛を防ぐためのコツを一緒に勉強してませんか？		
30	脳卒中になるとどうなるの？		
講師	理学療法学専攻 助教 村上 達典	講義形式	演習
授業概要	脳卒中は、認知症に次ぎ要介護の原因2位の疾患です。いわゆる半身不随と呼ばれる様な運動の障害だけでなく、高次脳機能障害という認知面の障害にも色々な種類があります。脳卒中になるとどんな治療やリハビリテーションを受け、退院後にはどんな生活を送ることになるでしょう？まずは脳卒中の“リアル”を知ってもらい、それを予防する方法についても紹介します。		
31	あなたは右脳派？左脳派？ ～左右の脳の働きを考える～		
講師	作業療法学専攻 講師 水野 貴子	講義形式	演習
授業概要	血液型性格診断のように、右脳左脳診断テストがあるのをご存じですか？左脳派は計算力や分析力に優れ、右脳派は直観力や想像力に優れているといわれていますが、本当でしょうか？実際に右脳左脳診断テストを行い、左右の脳の動きや、脳梗塞などで脳が障害されるとどのような症状が現れるかを考えてみましょう。		
32	「手」を使うことがもたらす脳への影響		
講師	作業療法学専攻 助教 白岩 圭悟	講義形式	演習
授業概要	「手」はその細やかな動きと感覚、特に触覚機能において、人間と他の動物を大きく隔てる人間固有の道具です。この講座では、「手」を使うことと脳活動のつながりや、リハビリテーションにどう応用されるのかについてお話しします。		
33	見る記憶、聞く記憶について		
講師	言語聴覚学専攻 教授 塚本 能三	講義形式	講義
授業概要	脳の大切な働きの1つに記憶があります。見て覚えることと、聞いて覚えることは脳の働きが異なります。実際に「覚える」ことを体験しながら、記憶について考えてみましょう。		
34	耳の仕組みと聴こえ		
講師	言語聴覚学専攻 准教授 馬屋原 邦博	講義形式	講義
授業概要	おしゃべりをしたり好きな音楽を聴いたりするときに、その言葉や音をとらえているのは耳です。私たちの耳の仕組みと働きについて考えてみましょう。		

35 難聴者の聴こえ方			
講師	言語聴覚学専攻 准教授 馬屋原 邦博	講義形式	演習
授業概要	難聴者には、音やことばがどのように聞こえているか、聞こえがどのように変化するのか体験を通して考えてみましょう。		

36 目で見ることば ～聞こえない人・聞こえにくい人とのコミュニケーション～			
講師	言語聴覚学専攻 准教授 馬屋原 邦博	講義形式	演習
授業概要	音や声が聞こえにくい・聞こえない人はどうやってコミュニケーションをしているのでしょうか。難聴者には声やことばがどのように聞こえているのでしょうか。難聴者・ろう者にとっての目の役割を考え、難聴者・ろう者と会話するときの方法を体験してみましょう。		

37 記憶力ってはかれるの？			
講師	言語聴覚学専攻 講師 芦塚 あおい	講義形式	演習
授業概要	「買い物頼まれたんだけど…あと一つなんだったっけ」、など日常生活でちょっとした“物忘れ”を経験したことはありませんか。物忘れが多くなると日常生活で大変困ってしまいます。皆さんの記憶について少し解説し、実際に記憶をどのようにしてはかるか経験してみましょう		

38 声のしくみ			
講師	言語聴覚学専攻 講師 芦塚 あおい	講義形式	演習
授業概要	みなさんは、多くの場面で「声」を利用して人とコミュニケーションをしているのではないのでしょうか。声は一人ひとり違いますが、どのようにして声を出しているのか少し見てみましょう。		

39 実行（遂行）機能と日常生活			
講師	言語聴覚学専攻 講師 上田 有紀人	講義形式	演習
授業概要	日常の何気ない行動はみなさん自身の脳で監視し、修正、実行を繰り返し、効率的な実行機能を生み出しています。この機能に関わる脳部位「前頭葉」について課題に取り組みながら学びましょう。		

40 クリケットにおけるメディカルサポートの実際			
講師	理学療法学専攻 准教授 今岡 真和	講義形式	講義
授業概要	クリケットは野球の原点とも言われ世界で2番目に競技人口の多いスポーツです。現在、世界的にも2032年のメルボルンオリンピックの正式種目を目指してクリケットの団体は非常に活動が盛んになっています。このようなスポーツにおけるメディカルサポートの一部を紹介します。		

41 目的に合った筋力トレーニング			
講師	理学療法学専攻 助教 久保 峰鳴	講義形式	演習
授業概要	皆さんは、身体のどこかに衰えを感じる、または力をつけたい部位はありますか？筋肉の特性を活かした、目的に合う筋力トレーニングの方法を一緒に考えてみましょう。		

42	ストレッチングを効果的に行うために		
講師	理学療法学専攻 助教 佐伯 純弥	講義形式	演習
授業概要	ストレッチングはスポーツ現場や健康体操等、幅広く行われています。この講義ではストレッチングが人体に与える影響や、ストレッチングを効果的に行うためのポイントを紹介します。		

43	障がい者スポーツ「ボッチャ」を体験しよう		
講師	作業療法学専攻 教授 中村 俊介	講義形式	実技
授業概要	東京パラリンピックで日本人選手が金メダルをとったことはご存じですか？ 脳性まひで生まれた杉村秀孝 選手が障がい者スポーツ「ボッチャ」と出会い、身体が動かしにくくても健常者が楽しむスポーツにチャレンジして見事に世界で一番になったスポーツです。健常者でも難しいこのスポーツに是非挑戦してみてください。		

44	フライングディスクを楽しもう		
講師	作業療法学専攻 教授 中村 俊介	講義形式	実技
授業概要	「フリスビー」で知られるフライングディスクには、様々な競技種目があります。子どもからお年寄り、犬ちゃんまでも楽しめるフライングディスクの5種類の投げ方から遊び方までマスターします。休日に友達や家族と公園で簡単に遊べるフライングディスクの基本をぜひ身につけてください。		

45	地域の伝統食材について		
講師	言語聴覚学専攻 教授 宇都宮 洋才	講義形式	講義
授業概要	各地域には古来よりその地域に伝わる様々な伝統食材があります。その伝統食材の地方における言い伝えや食することによる機能性について理解を深めましょう。		

46	赤ワインポリフェノール（レスベラトロール）の健康寿命の延長効果		
講師	理学療法学専攻 教授 後藤 隆洋	講義形式	講義
授業概要	赤ワインなどに豊富に含まれるポリフェノールであるレスベラトロール（分子量 228）。どのように細胞に作用し、健康寿命の延長に効果があるかを私たちの実験結果に基づいて解説します。		

47	食品の健康に対する効果と生物学		
講師	言語聴覚学専攻 講師 河野 良平	講義形式	講義
授業概要	食品には健康維持や疾患予防に有効な成分が含まれることがあります。そのような機能性成分の効果を生物学の知識を用いて理解しましょう。		

48	季節の園芸クラフト講座		
講師	作業療法学専攻 助教 田崎 史江	講義形式	演習
授業概要	季節の植物を使って、創作活動を行います。季節と日本の暦、行事や習慣を、植物を通して感じ、楽しむ方法をお伝えします。		

49	園芸ボランティア養成講座		
講師	作業療法学専攻 助教 田崎 史江	講義形式	演習
授業概要	地域や高齢者施設で、園芸活動を取り入れたいと考えている人たちのために、またはそれをお手伝いしたいと考えている人たちのための講座です。 1. 園芸療法・園芸福祉の考え方 2. 園芸植物の栽培 ④園芸作業中の介助方法 4. ガーデン・花壇デザイン ④施設での園芸実習⑤回シリーズで行います。)		

50	季節の花を活かしたリハビリ体験		
講師	作業療法学専攻 助教 田崎 史江	講義形式	演習
授業概要	障がいのある方や機能回復、症状改善を図る園芸療法を体験しよう。 屋外実習の紹介と、草花を使った屋内でのリハビリテーションを体験しよう。		

51	今からロコモティブシンドロームを予防する		
講師	理学療法学専攻 教授 中村 美砂	講義形式	講義
授業概要	骨や筋肉の障害により、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態を言うロコモティブシンドローム（ロコモ）。生活習慣などの変化から、高齢者のみならず若者にもロコモ予備軍が急増しています。本講座では、その実態と予防策についてお話しします。		

52	車いすはみんなの大事な移動手段！		
講師	理学療法学専攻 教授 古井 透	講義形式	実技
授業概要	車いすは見たことはあるけど、触ったことはない。そんなあなたも車いすのプロフェッショナルを目指してみませんか？まず、車いすの「車」の部分と「いす」の部分についてご説明します。そのあと、目で見、体験して、間違った使い方では身体を痛めないための知恵を持って帰ってください。		

53	災害時の健康を守る運動について		
講師	理学療法学専攻 教授 峰久 京子	講義形式	講義
授業概要	大規模災害時の避難生活等においては、エコノミークラス症候群やロコモティブ・シンドロームなどの不活発から起こる問題が起こりやすくなります。 この講座では心身の健康を守るための運動について紹介します。		

54	毎日の活動と豊かな生活を目指す思考から始まる認知症予防 -作業療法+心理療法の応用から-		
講師	リハビリテーション学科長 教授 大嶋 伸雄	講義形式	講義
授業概要	認知症になる前の段階を軽度認知障害（MCI）といいます。そして、多くの高齢者が「老人性うつ」からMCIにはいつてしまいます。つまり「老人性うつ」にならないようにイキイキとした生活を継続する事が認知症にならない大事なポイントになります。この講義では、実際には、なかなか継続することが難しい日常の様々な活動と、イキイキとした張りのある毎日をおくるための心の仕組みについて学習します。		

55	働き方～思考を変えることで実現する生きがい作り -認知行動療法から-		
講師	リハビリテーション学科長 教授 大嶋 伸雄	講義形式	講義
授業概要	毎日の仕事辛い、会社に通うのがおっくうになる、仕事を変えたいが自分は何をしたら良いかわからない。現在、サラリーマンには厳しい時代だと思えます。そこで皆さんの考え方～思考をちょっと変えるだけでこんなに気持ちが楽になれる。それが現在、世界中でその効果が認められている認知行動療法です。この講義で認知行動療法の基本知識とその効果について学んで頂き、これから生きがいを持って楽しく人生をおくるための準備を始めましょう！		

56	日本人の国民性と社交～コミュニケーション － 海外との比較からみた私たち日本人の考え方と生活 －		
講師	リハビリテーション学科長 教授 大嶋 伸雄	講義形式	講義
授業概要	「日本人のおもてなし」は世界中で大評判です。しかし、実際に日本人は「表と裏」の2面性をもつ民族、とも言われています。さらに、たいへん真面目すぎて自分で自分の首を絞めてしまうような国民性だとも言われています。この講義では私たち日本人のルーツを知り、自分たちの長所と短所を知ることと社会での人間関係において上手に対処出来るようになります。職場の同僚や友人達、家族間の良好なコミュニケーションは、まず、お互いの垣根を取り払うことが大事です。そして、その鍵は、自分にもっと自信を持つことです。		
57	福祉用具を用いた腰痛を予防する移乗介助を学ぶ		
講師	作業療法学専攻 教授 岸村 厚志	講義形式	実技
授業概要	ノーリフティングポリシーの考え方・持ち上げない移乗介助方法について、スライディングボードやスライディングシート等を使用して実技を学びます。滑らせるだけで簡単そうなのにうまくいかないという方が多いのではないですか？うまくいく方法をお伝えします。		
58	役に立つ心理学！問題解決のための行動分析学		
講師	作業療法学専攻 教授 岸村 厚志	講義形式	講義
授業概要	人の行動を徹底的に分析する心理学である「行動分析学」の紹介です。勉強・恋愛・スポーツ・仕事・悪習慣・ダイエットなど、人間のあらゆる行動を成功に導く原理を学びます。		
59	医療安全「人は誰でも間違える」		
講師	作業療法学専攻 教授 岸村 厚志	講義形式	講義
授業概要	「私、失敗しないので！」と言いきれるのは、ドラマの世界のことだけでしょうか？医療は進歩し続け、そのおかげもあり人生100年時代と言われています。患者としてどのように「医療」と付き合っていくのか一緒に考えましょう！		
60	室内で出来るレクリエーション		
講師	作業療法学専攻 教授 中村 俊介	講義形式	講義
授業概要	余暇活動の過ごし方として行われるレクリエーション活動から、高齢者に対する予防医学的レクリエーションまで、その指導の準備から実施までを解説し、簡単な種目を体験します。		
61	一人でできるレクリエーション		
講師	作業療法学専攻 教授 中村 俊介	講義形式	講義
授業概要	レクリエーションは一人でも十分に楽しめる種目があります。頭を使う種目から身体を使う種目まで、様々なアクティビティを体験していただけます。更に、そのアクティビティをリハビリテーションに活用できる方法も解説します。		
62	ストレスとうまくつきあおう		
講師	作業療法学専攻 教授 堺 景子	講義形式	講義
授業概要	みなさんは「ストレス」を感じた時にどのような対処をしていますか？「ストレス」について理解を深め、「ストレス」と上手に付き合う方法を考えてみましょう。		

63ひとにとって「幸せ」とは何だろう？			
講師	作業療法学専攻 助教 白岩 圭悟	講義形式	講義
授業概要	リハビリテーションでは病気や障害を回復させることを目指しますが、元の健康な状態に戻ることができない事も多くあります。この講座では、心身機能が回復できなくても「幸せ」になることはできるのかという事について、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。		

64どうすれば良い？ 社会交流スキルの磨き方			
講師	作業療法学専攻 助教 中越 雄也	講義形式	演習
授業概要	人と人とが関わる時に必要なスキルを、社会交流スキルと呼び、全部で27項目もあります。今回は、その一部を紹介し、社会交流スキルの種類を学びながら、自分自身の社会交流の傾向を知り、自分にあった社会交流の磨き方を考えてみましょう。		

65良い生活、良き人生のために、作業バランスを考えよう			
講師	作業療法学専攻 助教 中越 雄也	講義形式	演習
授業概要	趣味や、仕事、勉強や、家事など、日々の生活の中でやりたいことや、やらなければならないことは多数あります。自分が今を楽しむためにしていることや、将来のためにしていること、人のためにしていることを振り返り、自分にとっての大切な作業のバランスを考えてみましょう。		

66目撃証言の信頼性			
講師	言語聴覚学専攻 講師 松尾 加代	講義形式	講義
授業概要	事件や事故の解決には目撃者による証言が重要ですが、果たして、それらは絶対的に信頼できるのでしょうか。心理学の視点から、目撃記憶・目撃証言についてお話します。		

67人はなぜ、好きなものを食べられなくなるのか？			
講師	言語聴覚学専攻 助教 和田 英嗣	講義形式	演習
授業概要	「何歳になっても美味しい物を食べていたい」と思いませんか？ 普段当たり前のように取っている食事ですが、実はからだ全体が総動員して成り立っています。そして、飲み込みの機能を維持するためにはいくつかのポイントがあります。それらについて一緒に考えてみましょう。		

68コミュニケーションについてちょっと勉強してみたい講座			
講師	言語聴覚学専攻 助教 和田 英嗣	講義形式	講義
授業概要	コミュニケーションとは一体何か。よく耳にする言葉かもしれませんが、その実体は何でしょうか。また、コミュニケーションが上手いかわからない時ってありませんか？ 今後のコミュニケーションを上達させるためにも、ちょっと勉強してみませんか？		

69パーキンソン病の構音（ことば）訓練について			
講師	言語聴覚学専攻 助教 和田 英嗣	講義形式	演習
授業概要	パーキンソン病は身体が固くなりやすく、全体的に運動範囲が狭くなり感覚も低下してくることがポイントです。 構音（ことば）訓練は出来るだけ運動も付けて実施し、振動（身体の中で声が響く）やリズムを感じながら、「相手に言葉を届けられる」ことを目標にトレーニングを解説していきます。		

70	『知って体験して予防する「子どもロコモ」(小学生～中学生向け)』		
講師	理学療法学専攻 講師 畑中 良太	講義形式	演習
授業概要	「現代の子どもたちは昔の人より骨が弱くなっていたり、転びやすかったり・・・といった、子どもロコモ(運動機能不全)の状態にあたりします。子どもロコモのチェックをして、生活習慣を見直してみませんか？」		
71	『知って体験して予防する「若年者ロコモ」』		
講師	理学療法学専攻 教授 峰久 京子	講義形式	演習
授業概要	「便利な世の中になり、動かなくても生活が成り立ちます。その結果筋肉や運動機能が落ちていても生活の中では気づかなかつたりします。今、若い人にも関心が高まっているロコモ(運動器症候群)のチェックをして生活を振り返ってみませんか？」		
72	運動が不器用な子どもに行う運動あそび		
講師	理学療法学専攻 教授 峰久 京子	講義形式	講義
授業概要	運動が不器用な子どもがいます。たとえば、ボール遊びが苦手だったり、スキップができない、なわとびや鉄棒が苦手など。子どもたちは、自信がなくなり、運動すること自体が少なくなります。子どもたちにできることを少しずつ増やして、楽しく運動するにはどうしたら良いかをお話します。		
73	子どもの権利条約		
講師	言語聴覚学専攻 准教授 野村 和樹	講義形式	講義
授業概要	日本が「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」を批准したのは1994年のことである。この条約は、第42条において「この条約の原則及び規定を成人及び児童のいずれにも広く知らせる。」とあることもあり、この条約の理解を促すとともに、健やかに育むということを考えたい。		
74	不器用な子どもたち～読み書きが苦手な子ども～		
講師	言語聴覚学専攻 准教授 高橋 泰子	講義形式	講義
授業概要	勉強をサボっているわけではないのに、文字を読んだり書いたりすることが苦手という人。記憶が苦手というだけが原因ではありません。見る・聞くこと、身体のバランスなどに原因があるかもしれません。リハビリ職種の視点から説明していきます。		
75	小論文・作文対策について		
講師	入試担当教員	講義形式	講義
授業概要	小論文にはお作法があります。そして、効果的な文章を効率的に作成するためには、書くテーマを分析し、大筋を設計し、構造をもつ文章を系統的に作成し、評価・改善を学ぶことです。小論文作成の工程に沿って解説していきます。		
76	面接対策について		
講師	入試担当教員	講義形式	講義
授業概要	「面接対策って何をすればいいの？」と思われる受験生の皆様に、面接で注意していただきたい点、皆様が自信をもってアピールできる点をどのように伝えていくべきなのかということをご説明いたします。		